

# 教育委員会だより

第15号 2020年7月30日発行

発行 井川町教育委員会  
住所 北川尻海老沢樋ノ口79-2  
Tel. 018-874-4424 Fax. 018-874-2924  
Mail. [kyouiku@town.ikawa.akita.jp](mailto:kyouiku@town.ikawa.akita.jp)

## 教科書がきちんと読める子どもたちに

勉強がわからない原因にはいくつか考えられますが、文章の意味がよくわからずに問題を読み、暗記やドリルばかりやっていることがその一つであると、これまでの研究で明らかになってきました。研究者の一人である新井紀子氏は著書「AI vs.教科書が読めない子どもたち」で、「教科書の意味がわかって読むことが学習の第一歩」とし、基礎的な読解力を高めるための「リーディングスキルテスト」を開発して全国の幾つかの学校で一昨年から取り入れられています。

今年度、井川義務教育学校では秋田県内で初めてこのテストを導入し、今月、6年生から8年生までが受検をしました。今後、学校では現状を把握し、その実態に基づいて読解力を伸ばすための授業の開発を目指します。



### 問1

仏教は東南アジア、東アジアに、キリスト教はヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアに、イスラム教は北アフリカ、西アジア、中央アジア、東南アジアに主に広がっている。

オセアニアに広がっているのは（ ）である。

- A ヒンドゥー教      B キリスト教  
C イスラム教      D 仏教

中学生正答率      53%

### リーディングスキルテストの実例と結果

※ 解答は左下に

### 問2

次のAとBの文の表す内容は同じですか、それとも異なりますか。

A 幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。

B 1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。

中学生正答率      57%

## 教育委員会関係8月の予定

日	曜	内 容
3日	月	日本海体験会（あきた白神体験センター）
8日	土	学校閉鎖（16日まで）
9日	日	吹奏楽部チアフルプラスフェスタ（男鹿市）
18日	火	夏休み最終日
19日	水	義務教育学校授業再開
31日	月	8月定例教育委員会 第2回町教職員研修会



### 8月のわくわく土曜教室

次のとおり開催します。ふるってご参加ください。

8月1日（土）10：00～

「ストーンアート教室」

※夏休みのため、8月は放課後子ども教室はありません。

# トンボの里の小さな「八郎湖」

八郎湖水質改善サロン主催、湖畔時報後援の論文作文コンテスト「八郎湖はよみがえるかー水質改善策一」審査会が7月3日に行われ、井川町からは遠藤勇人氏（町教育委員）が佳作に、小武海夏姫さん（義務教育学校6年）が特別賞「未来賞」に入賞しました。今月は小武海さんの作品を紹介します。（一部省略しています。）

## トンボの里の小さな「八郎湖」

井川義務教育学校6年 小武海 夏姫

私の夢は、井川町がたくさんのトンボが飛ぶ自然豊かな町になることです。そのためには八郎湖がきれいになる必要があります。私がなぜそう思うようになったか、これまで勉強してきたことを振り返ってみたいと思います。

私が八郎湖の存在について知ったのは、幼稚園の時でした。それまでは、すぐそばにこんなに大きな湖があるとおもわず、初めてみた時は海だと思いました。

私には五つ年の離れた姉がいます。姉が小学校4年生のときに学校で出前授業をしていただいた千葉県立中央博物館の林紀男先生との出会いがありました。その年の夏休み、千葉



県のおじいちゃんおばあちゃんの家へ遊びに行きながら、博物館へ林先生を訪ねました。林先生は、秋田から突然訪問した私たち家族に「よくきてくれたね」と、とても優しく言いながら、忙しい中博物館を案内し、博物館ができた頃のお話や展示物の説明もしてくれました。（中略）

そして私は4年生になりました。やくそくどおり林先生は学校に来てくれて、総合学習で八郎湖の生き物や性質、現状について教えてくれました。（中略）私たちは八郎湖に水質調査に出かけました。湖岸に行ったのは初めてだったので、八郎湖の大きさにびっくりしました。そして井川の下流でイメージしていた通り、水はにごっていて悪臭がしました。こんなところにアオコが発生するのも無理はないと思いました。

アオコは植物プランクトンです。干拓された八郎湖には家庭や工場からの排水、農業は水などが流れ込み、それらが植物プランクトンの栄養になって大量に増えます。

普通の湖や沼では水草がたくさんあり、このアオコが異常に増えることはありませんが、八郎湖は干拓により湖岸の多くをコンクリートでおおったので水草が少なくなったのです。だから八郎湖にはアオコが大量発生するのだと林先生は話してくれました。

水草はアオコを食べるミジンコや水生生物のかくれ家としてとても重要です。ミジンコなどは魚に食べられてしまうので水草をかくれ家として使います。だから水草を増やしてミジンコを増やすことが八郎湖の水をきれいにしてくれることにつながるのです。（中略）

私のおじいさんは、昔は八郎湖でよく泳いだそうです。こんなに近くで泳げる場所があったなんてうれしいです。今すぐには無理でも、私たちの子どもや孫が八郎湖で泳げる日が来れば夏休みは毎日自転車で通うんだろうなと思うとワクワクします。

そうなるためには、八郎湖の水をきれいにしていなくてははいけません。八郎湖の周りに暮らす私たちが汚い水を八郎湖に流さない、ゴミを捨てない、そして水草を植えるなど、できることから行動に移せば良いと思います。ゴミが落ちていたら見て見ないふりをしないでゴミを拾うなど、一人では小さい力でも、みんなであれば八郎湖はきれいにできるはずですよ。

昨年私が通う井川義務教育学校に大きな水そうが設置されました。その名も「生き物ふるさと水そう」。水そうにはたくさんの水草が植えられ、トンボの里になるにはちろうプロジェクトの方々に協力してもらい林先生にも来校していただいて設置されました。土を入れた植木ばちに水草を植え、それを水がたくさん張ってある大きな水そうに静かに沈めます。いつか千葉県立中央博物館で見せていただいた、あのキラキラした大きな水そうと同じものです。私は水そうが学校に設置されるのをとても楽しみにしていました。この水そうは、まるで八郎湖のミニチュア版です。水草は、ミジンコや水生生物のかくれ家になりますが、トンボのかくれ家や卵を産みつける場所にもなります。強いトンボが弱いトンボを攻撃して食べてしまうので、かくれ家になる水草が育たないとトンボが食べられていなくなってしまいます。水草が増えればミジンコや水生生物が増え、そこにトンボがきます。

私は今、6年生です。5月のある日、水そうを見に行ったら、そこにミジンコや水生生物を見つけました。とても感動しました。学校のかたすみで生まれた小さな八郎湖をずっと見守っていきたく私は強く思いました。



何種類ものトンボが飛び交う町井川町。そんなふるさとを持つことができたなら私たちは何て幸せなのでしょう。そして、八郎湖も井川町と同じように、水草がたくさん生えて、たくさんの種類のトンボが飛び交う湖になったらどんなにすてきでしょう。私が暮らす井川町も八郎湖も自然豊かなところになってほしいと、今、心から願っています。

